



太田太陽光発電所

000m²くらいの土地を集約していかねければならないと考えるが、メガソーラーのパネルを設置した土地はどう評価していくのか聞きたい。

答弁(企画部長)

①今後は調査研究を行いながら、導入に向けた検討を行うとともに専門的な知識と高度な技術を有した事業主の発掘にも努めていく。

②耕作放棄地の活用については、事例を把握してないので、積極的に検討を重ねていく。土地の評価については個人的な考えになるが、遊休地にパネルを設置した場合、農地ではなく宅地の評価になるものと思う。

答弁(市長)

耕作放棄地と新しい地域型のエネルギー開発を結び付けていく方向で自治体としても考えていきたい。

再質問

市内の埋もれている土地、財産を有効活用できれば良いと思ひ提案した。当市の地形からいえば太陽光が一番だと思ふ。それをうまく利用し、

太陽のまち、太陽光のまち常総市と宣言して、積極的に押し進めていただきたい。
(その他の質問)

○西幹線道路の整備に伴う沿線開発について

鬼怒川を挟み東西の公共サービスに不公平がある。急に解消すべきと考えるがいかがが。 小林 剛 議員

質問

常総市の地形は、鬼怒川を挟み東西に分断された形になっている。西側の地区には3万1,000人以上の市民が生活している。常総市全人口の半数近くを占めているにもかかわらず、住民サービスの大本である市役所本庁舎、支所とも東側にあり、西側には全くない。昭和29年に菅原村、大花羽村、坂手村が合併し、昭和31年には内守谷村、菅生村が合併した。それまではそれぞれに役場があったが、合併によって大変不便になってしまった。交通事情が良くなったとはいえず、60年近くもの長きにわたり、時間的にも物理的にも負担を強いられてきた。差別的とも言える公共サービスの不公平を解消するためには、支所、または出張所を一日も早く西側に開設しなければならぬと思ふ。消防署や郵便局の一角を借用して自動交付機を置くということ

も考えられるが、しよせんは機械であり、行政は最大のサービス産業であると宣言する市長の心も伝わらないだろう。現政権のコンクリートから人へという失敗を繰り返さないためにも、経済のことも考え、コンクリートも人もという考え方に立つて、インフォメーション程度の人員を配置する支所、出張所の設置を望む。箱物は無駄なものばかりではなく、人に優しいコンクリートもあるということを理解していただきたい。

答弁(企画部長)

地方自治体への権限委譲が進み、業務量は年々増加する一方で、財政健全化の一環で市職員の定員適正化に取り組んでいる状況であり、現状を総合的に勘案しながら検討する必要がある。自動交付機の設置についても、あわせて検討していきたい。

答弁(市長)

新しくものを建てるという

のではなく、消防署等今ある施設の一角に入れるという方向で検討していきたい。

再質問

西側の人は、60年近く差別的公共サービスを受けてきた西側に支所、出張所等のサービス機関をつくらせてほしいという悲願がある。簡単に機械で済ませようということではなく、一日も早く支所、出張所まで考えてほしいということである。

再答弁(市長)

新たに支所などを建てるということとは考えていない。今ある施設の一角、人がいるところを選ぶ方向で考えている。

再々質問

新たにつくらないということだが、自動交付機なり、インフォメーション程度の人員配置を、今までの公共施設を使って行うということだと理解する。

(その他の質問)

○高杉市長がネットで公開しているユーチューブの動画(政治家の目的)に対して問う



平成25年度 第1回 市議会定例会日程 (予定)

- 2月27日(水) 本会議
 - 3月4日(月) 一般質問
 - 5日(火) 一般質問
 - 6日(水) 一般質問
 - 7日(木) 予算特別委員会
 - 8日(金) 予算特別委員会
 - 11日(月) 予算特別委員会
 - 12日(火) 常任委員会
 - 13日(水) 常任委員会
 - 14日(木) 常任委員会
 - 18日(月) 本会議
- 正式な日程は2月下旬に開催される議会運営委員会で決定されます。

